

第5学年 外国語科学習指導案

令和2年11月25日(水) 5校時

第5学年1組 計33名

男子20名 女子13名

指導者 中村 彩(T1)

Ricardo Cirilo Amorea Mercado(T2)

研究主題 「Let's try communication more!」 ~児童が主体的に取り組む外国語教育の創造~

目指す児童像

様々な表現や言葉を用い、他者意識をもちながら、自分の考えや気持ちを伝え合う子ども

1 単元名 「Unit5 Where is the post office?」 (NEW HORIZON Elementary 5 東京書籍)

2 単元の目標

(1) 知識・技能

場所や位置のたずね方や答え方などについて、聞いたり伝えたりすることができる。

アルファベットの活字体の大文字・小文字を識別し、読んだり、書いたりすることができる。

(2) 思考・判断・表現

自分の知りたい場所や位置をたずねたり、相手を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方について、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりすることができる。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

他者意識をもちながら、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none">道案内のやり取りを聞いて、内容を理解している。場所のたずね方や答え方などについて、お互いの考えを伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none">自分の知りたい場所や位置をたずねたり、相手を案内したりするために、場所や位置を伝え合っている。道案内を通じて、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの情報や考えを伝え合っている。	<ul style="list-style-type: none">自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために、場所のたずね方や答え方などについて、概要を捉えようとしている。簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合おうとしている。

4 単元について

本単元では、道案内のやり取りを聞き、それをもとに実際に児童同士でロールプレイを行い、さまざまな場所への行き方をたずねたり答えたりする活動である。やり取りを通して、道案内がなめらかに進む場合もあれば、相手になかなか伝わらない場面も出てくると予想される。その時に、相手の立場に立った表現を選ぶことについても考えさせたい。そして、単元最後の言語活動に学校案内の場を設定した。地図上ではなく、実際に友達を案内することで、目的意識を持たせることにつながり、児童同士が進んで伝え合う力を育てたい。

5 主な表現・語彙

【表現】

Where is ~? Go straight for ~block(s). Turn left/right(at the ~corner). It's in/by/on/under ~.
Go straight for just little bit . You can see it on your right/left.
Excuse me. Pardon? Thank you. You're welcome.

【語彙】 [buildings,places] :house, elementary school, junior high school, park, library, museum,
city hall, hospital, bus stop, station, police station, fire station, gas station
post office, bookstore, convenience store, department store, restaurant,
supermarket, flower shop, castle, shrine, temple, amusement park,
aquarium, stadium, zoo, bridge, street

[school] :class room, staff room, infirmary, science room, home economics room, music room,
drawing room, gymnasium, library, conference room, principal's room

[directions] : go, straight, turn, right, left, block, see

[locations] :by, in, on, under

[common items]:ball, bat, racket, bag, plastic bag, box, cup, watch, clock, basket, textbook,
comic book, computer, calendar, map, picture, present, treasure, desk, chair,
wheelchair, bath, bed, wall, window

6 児童の実態

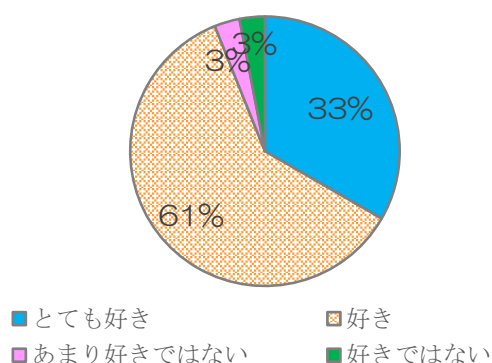
(1) 教師から見た実態

本学級の児童は、外国語の授業に対して前向きに捉えている児童が多く、毎回の授業において、楽しみながら取り組んでいる。ALT の話を聞いたり、全体で発話したりする場面では参加できる児童も多く、基礎的・基本的な英語の語彙や表現であれば聞いたり話したりすることもできる。しかし、友達と積極的に英語でのやり取りをしようとする姿勢は見られるが、会話としてのやり取りではなく、文章を読み合う活動で終わってしまっている。伝え合う活動にするために、会話におけるリアクションや同調表現など、少しずつ増やしていけるよう積極的に提示している。また、苦手意識のある児童もいるため英語の歌や、簡単なゲームやフレーズのやり取りを通して、まずはどの児童も意欲的に活動できる内容を組み立て設定している。

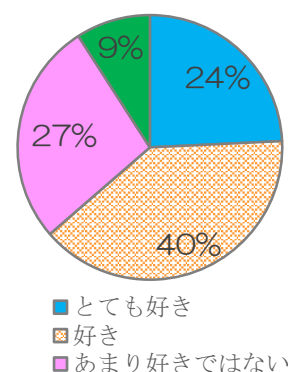
(2) 児童の実態調査結果及び考察

以下が、8月中旬に行った外国語に関する実態調査の結果である。

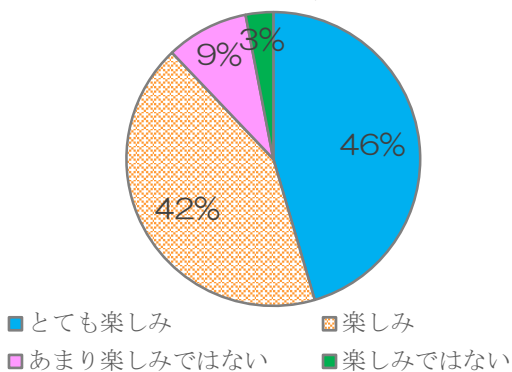
1.英語を聞いたり話したりすることが好きですか



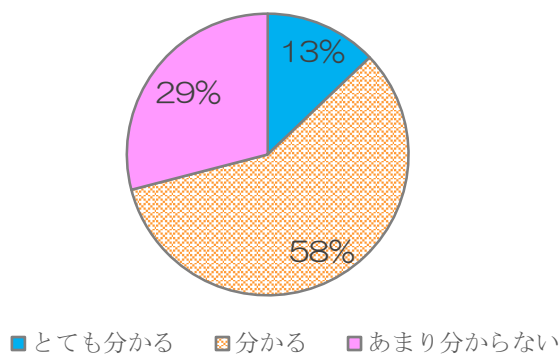
2.英語を読んだり、書いたりすることが好きですか



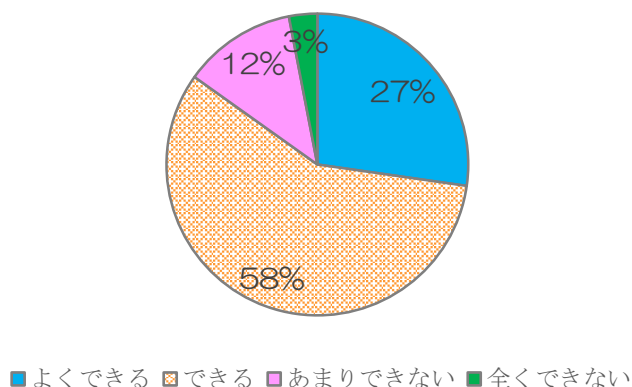
3.英語の授業がある日はどんな気持ちですか



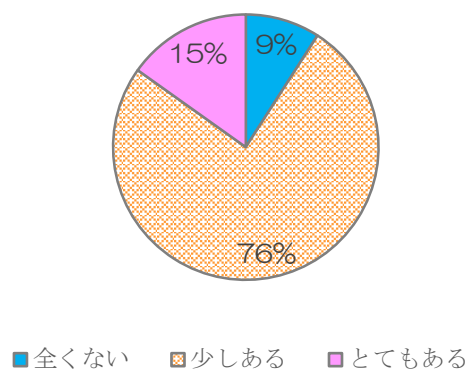
4.先生やALTの先生が英語で話していることがわかりますか



6.授業中、友達や先生と英語を使って話すことができますか



8.外国語の学習を難しいと感じることはありますか



この結果と日々の児童の姿を重ね合わせ、次のように考察した。

『外国語の授業がある日は』で、「とても楽しみ・楽しみ」と答えた児童は 82%で、外国語の学習に対して、前向きなことが分かる。英語を『聞いたり・話したりすること』が「好き・まあまあ好き」と答えた児童は 94%であった一方で、『読んだり・書いたりすること』が、「好きでない・あまり好きではない」と答えた児童は 36%であった。このことから、読むこと・書くことへの抵抗感があることが分かる。また、『先生やALTの先生が英語で話していることが分かる』で 29%の児童が「あまり分からない」と回答した。『外国語の学習を難しいと少し感じる』と答えた児童も 76%であった。これらのことから、外国語の活動に対しては前向きに捉えることができる児童が多いが、やはり学年が上がったことで、学習内容のレベルも上がり、単語の意味が分からないことに不安を感じたり、苦手意識を持ったりする児童も多くなってきていることが考えられる。しかし、先日の TGG の経験を通して、“文章の全てが分からなくても伝わること” “単語が分からなくても、ジェスチャーを使って伝えられること” を実感し、伝えようとする気持ちも必要だということに気付くことができた。楽しく学ぶことも大切にしながら、苦手意識の強い児童にも、コミュニケーションを通して伝える喜びを実感させることができる授業を計画し、改善していきたい。

7 研究主題に迫るための指導の工夫

○「児童が主体的に取り組む」ための手立て

(1) 様々な表現や言葉を使う

・外国語に慣れ親しむための導入の工夫

その日のリーダーによる英語での挨拶から授業が始まるとともに、その後は、「How are you? Time」「歌」を繰り返し設定した。毎時間繰り返すことで、児童の学習に対する緊張感を和らぐことができるようにした。

・言葉や表現の掲示の工夫

やりとりの例示は、イラストに単語を添えたカードやいろいろな尋ね方を ICT で掲示した。掲示したカードを頼りに、それまでに音声で聞いて十分に慣れ親しんだことを思い起こしながらやりとりができるようにした。

(2) 他者意識をもたせる

・ALT の活用

授業中に、ALT と児童が相互にコミュニケーションを取る場面を多く取り入れた。ALT のやり取りでは、スムーズな会話の流れを実感できるようにした。

・コミュニケーションを活性化させるための場の設定

相手の理解度を気遣いながらのコミュニケーションにしていくため、行先の分からない状況を設定した。

・相手への応答の仕方を例示

やり取りを通して、相手が話したことを繰り返したり、リアクションをしたりすることで、会話をつなげたりできる応答の仕方を例示し、意識付けした。

(3) 自分の考えや気持ちを伝え合う

・必然性のある場面設定

学校という身近な場所を使って実際に道案内することで、普段あまり感じていない英語に対する意識が高まり、必然性が生まれるのではないかと考えた。そして、そこにゲーム要素を取り入れることで、楽しみながらも、正しく伝えるため・正しく聞き取るための互いのやり取りを高めるために場を設定した。

8 指導計画と評価計画（全 8 時間）

時	○目標 ・学習活動	◎支援 ★評価【観点】(方法)
1 2	○場所をたずねたり、答えたりするやり取りのおよその内容を理解する。 ・道案内、位置、建物の単語を確認する。 ・登場人物たちの道案内のやり取りを聞き取る。	◎道案内の地図から推測できるよう、英語で確認してから聞き取らせる。 ◎聞こえてくる単語について、絵カードを使って音声を聞き、理解できるようにする。 ★場所や位置のたずね方や答え方などについて、聞き取ることができている。【知識・技能】 (教科書・行動観察・振り返りカード)
3 4 5	○探し物がどこにあるのかたずね合う、 ・日常生活、位置の単語を確認する。 ・探しものがどこにあるのかたずね合う。 ○地図を使って学校の道案内をする。 ・学校内の教室などの単語を確認する。	◎やり取りを発表させ、絵カードなどで可視化する。 ★探しものについて、たずねたり答えたりしている。【思・判・表】 (行動観察・振り返りカード)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで学校案内のやり取りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校案内で必要な表現を出させる。 ◎相手の立場に立った表現を選ぶことについて考えさせる。 ★簡単な語句や基本的な表現を話そうとしている。 【主】(行動観察・振り返りカード)
6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○実際に学校の道案内をする。 ・グループごとに学校の道案内をする。 <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;"> <p>『学校案内』</p> <p>◎人数：1グループ2～3人</p> <p>◎制限時間：10分間</p> <p>① 「道をたずねる役」がカードを引き、「案内する役」に渡す。</p> <p>② 「案内する役」はカードで引いた教室までの道順を、地図を見ながら教える。(※その時に、地図を見せたり教室の名前を言ったりしては行けない。)</p> <p>③ 「道をたずねる役」は、教えられた道順をホワイトボードに整理しながら、それを頼りに実際に教室に向かう。</p> <p>④ 教室カードをゲットし、自分が引いたカードと同じであれば、道案内成功でポイントが入る。</p> <p>※道案内が成功したら、①～④のやり取りを繰り返し、時間内で多くのポイントをGETしていく。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎教室の名前は使わず、学校をオリジナルタウンとして、既習のフレーズを使用して、案内を行う。 ◎ALTとモデル会話を行う。 ◎ALAは、道案内に沿って目的地を目指す児童の様子を見ながら、児童から質問されたら答えたり、児童に質問したりしてやりとりをする。 ★自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために場所のたずね方や答え方などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。【主】(行動観察・振り返りカード)
7 8	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の地図や標識について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。 ・世界の地図や標識について考える。 ○英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深める。 ・カナダについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎世界で用いられているものと、日本で用いられているものの類似点に気付かせる。 ★ピクトグラムでの地域紹介について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。 【主】(教科書・行動観察・振り返りカード) ★外国語の背景にある文化に対する理解を深めるため、日本在住の外国出身の人について、概要を捉えようとしている。【主】(教科書・行動観察・振り返りカード)

9 本時の展開 (6 / 8)

(1) 本時の目標

学校をオリジナルタウンに見立てて、道案内をする。

(2) 展開

過程	学習活動	◇T1 の活動 ◆T2 の活動	◎指導上の留意点★評価規準	準備物
導入 7分	1、 Greeting ・ How are you? time 2、 Warm up ♪ on, in, under, by 3、 Small Talk をする。 What do you want for your town?	◇◆挨拶をし、児童と一緒に今日の気分を確認する。 ◇◆歌を流し、一緒に歌う。 ◇◆モデル会話をする。	◎『How are you? time』では、児童と一緒にやりとりをする。 ◎英語の歌に合わせて体を動かすことで、明るく楽しい雰囲気作りをする。 ◎ Small Talk をふまえた質問を児童にする。	CD PC
展開 10分 前半 10分 + 3分 + 後半 10分	4、本時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> Today's goal オリンピックに向けて、道案内をしよう。 </div> 5、既習表現を復習する。 Let's chants! ♪ Where is the post office? 6、 Activity 道案内をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> やりとり例 A: Excuse me. B: Yes. A: Where is the book store? B: Oh, I see. It's by the museum. A: OK. It's by the museum. B: Go straight for just a little bit. A: OK. Go straight for just a little bit. B: Turn right. Go straight for four blocks. A: OK. Turn right. Go straight for four blocks. A: Turn right. Go down stairs to third floor. B: OK. Turn right. Go down stairs to third floor. A: Turn left. Go straight for three blocks. B: OK. Turn left. Go straight for three blocks. A: You can see it on your left. B: You can see it in front of you. A: Oh, I see. Thank you. B: You're welcome. AB: Bye. </div> 前半の活動の後、 Reaction 表現の活用について全体で確認する。	◇めあてを提示する。 ◆掲示物を活用して確認する。 ◇児童側になって活動する。 ◇◆デモンストレーションをする。 ◇道案内のルールを確認する。 ◇ペアのうち「案内する役」と「道をたずねる役」を決め活動させる。 ◆道案内中は、各フロアを回り、児童の様子を見る。(質問されたら答えたり、目的地向かっている途中の児童に、質問したりする。) ◆道案内で使う表現や、リアクション表現などを確認する。 ◇役割を交代して活動するよう指示する。	◎道案内の目的を伝える。 ◎本時で活用する単語をリズムカルに練習させる。 ◎道のたずね方の質問や、説明の仕方の表現を確認させる。 ◎やり取りをする際、教えてもらった情報を繰り返し言い、ホワイトボードに整理するようにさせる。 ◎道案内のルールを確認し、ポイントについても説明する。 ◎案内する側は、次のカードで何が出てもいいように、言い方の確認しておく。 ◎音声でも各自確認できるように、用意しておく。 ◎特にやり取りの中で、リアクションや相づちを入れているか確認させる。 ★自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために場所のたずね方や答え方などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。 【主】(行動観察・振り返りカード)	絵カード 校内地図 PC
終末 5分	7、振り返りカードを書く。 ・自己評価をする。・感想を聞く。 8、 Goodbye Song ・英語の歌に合わせて体を動かす。	◇発表者を指名する。 ◇◆児童と英語で挨拶する。	◎学習を振り返り、学習の成果についての児童の気付きを促すようにする。	振り返りカード

(3) 本時の視点

・ペアやグループで学校案内をする活動は、児童の主体的な活動を促す上で有効であったか。

Unit5 Where is the post office?

Today's goal

東京オリンピックに向けて道案内をしよう。

Greeting

Warm up

Small talk

Activity

Today's point

Excuse me.

I see.

OK

Sorry.

I don't know

Please one more.

Pardon?

Thank you.

You're welcome.

(建物の絵カードを掲示)

PC (プレゼンテーションソフト)

2 F

Where is the post office?

1 **Go up stairs to second floor.**

2 **Go straight for two blocks.**

3 **Go straight. Turn right at the first corner.**

4 **Cross the train tracks.**

5 **It's by the zoo.**

6 **Go straight for just a little bit.**

7 **You can see it on your left.**